

## 別添 2

### あいちシンクロトロン光センター支援協力教職員制度について

名古屋大学シンクロトロン光研究センター（以下「名大SR」という。）は、4大学連合（名古屋工業大学、豊田工業大学、豊橋科学技術大学、名古屋大学）と愛知県との協定の下、あいちシンクロトロン光センター（以下「あいちSR」という。）の整備・運営を愛知県・科学技術交流財団と共同で進めています。あいちSR開設当初の平成25年度には、XAFS、小角散乱など6本のビームラインの整備と運用に協力しました。その後も新規ビームラインの計画・建設に協力し、現在は名古屋大学専用ビームラインも運営を開始しています。

名古屋大学ではシンクロトロン光施設を先端研究のインフラとして、人的、予算的支援が行われています。本学の多くの研究者がこれを用いて成果を出して頂きたいと考えています。

あいちSRにおけるこうした名大SRおよび4大学連合の継続的な活動に鑑みて、あいちSRの利用に際し、これらの大学の支援ならびに協力研究者の利用料が通常の大学等のアカデミック利用料金に比べて半額となる支援大学利用料金が設定されています。この料金は、名古屋大学の教職員のうち、名大SRと共同して、あいちSRの活動支援に協力していただける教職員（以下「あいちSR支援協力教職員」という。）に適用されます。

名古屋大学において、あいちSRの利用を希望される教職員のうち、あいちSR支援協力教職員となって名大SRと共にあいちSRの支援にご協力を頂ける方は、別添3 あいちSR支援協力教職員登録申請書をご提出ください。募集は随時行います。

申請は、名古屋大学放射光利用者懇談会と名大SRが共同で設置する選考委員会において審査します。

採択されました支援協力教職員には、あいちSRの施設改善や新規ビームライン整備についての協力、あいちSRを利用した研究成果の公表および産業界等への利用拡大のための取り組みなど、名大SRが行う活動にご協力をお願いすることになります。

申請書提出先・問い合わせ先：

名古屋大学シンクロトロン光研究センター事務室

e-mail: NUSRUser@nusr.nagoya-u.ac.jp、Tel: 052-747-6562